

たかちほきょう

高千穂峡 <http://takachiho-kanko.info/>

* 高千穂峡・・・真名井の滝など大自然が作り出した幻想的な渓谷です

高千穂峡は、その昔阿蘇火山活動の噴出した火砕流が、五ヶ瀬川に沿って帯状に流れ出し、急激に冷却されたために柱状節理のすばらしい懸崖となった渓谷。

この高千穂峡は、1934年（昭和9）11月10日名勝・天然記念物に指定されています。

付近には日本の滝100選にも選ばれた真名井の滝、槍飛橋などがあります。

さらに神話に由縁のある「おのころ島」や「月形・日形」「鬼八の力石」など、高千穂峡の遊歩道のみで高千穂の魅力を十分に感じることができるスポットといえます。

貸しボートもございますので、ぜひご利用ください。



http://takachiho-kanko.info/data/guide/image/pdf_1339044419_4.pdf

絶壁が7 kmにわたる

太古の昔、阿蘇山の火山活動によって噴出した溶岩が冷え固まり浸食された断崖がそそり立つ渓谷で、高いところで100m、平均80mの断崖が東西に約7キロに渡って続いており、昭和9年には五箇瀬川峡谷として国の名勝・天然記念物に、昭和40年には祖母傾国定公園の一部に指定されています。

渓谷内には日本の滝百選に指定されている名瀑「真名井の滝」があり、高千穂峡のシンボルとなっています。

真名井の滝

日本の滝百選に指定されている名瀑で、約 17mの高さから水面に落ちる様は高千穂峡を象徴する風景です。天孫降臨の際、この地に水がなかったので、天村雲命（アメノムラクモノミコト）が水種を移した「天の真名井」から湧き出る水が滝となったと伝えられています。

遊歩道の一部がバリアフリーになり、車椅子利用の方でも新設の「真名井の滝展望台」までスムーズに行けるようになりました。



高千穂三橋

高千穂峡の遊歩道の撮影ポイントとなっている「高千穂三橋」。趣の違うアーチ橋が一望でき、一つの渓谷の一角所に三本ものアーチ橋を見ることができるのは全国でもここだけだと言われております。また、高千穂の伝説に残る鬼八が投げたという鬼八の力石など、神話と伝説に所縁のあるスポットが数多く存在しています。



柱状節理

太古の昔、阿蘇山の火山活動によって噴出した火砕流が、長い年月をかけて浸食され、観光客の目を圧倒する柱状節理や深いV字型の美しい渓谷を見ることができます。

また、柱状節理でできた断崖「仙人の屏風岩」は迫力満点です。



Point
4

圧倒！
高さ50〜
100mの
柱状節理。